



J613-M0687-00 Rev.B 060401

レジデンシャル・VoIPゲートウェイ

CentreCOM® **RG601TX**

CentreCOM® **RG601TX-SP**

ユーザーマニュアル



- 本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書は製品とともに保管してください。

※ 写真はRG601TX-SPです。

安全のために



必ずお守りください

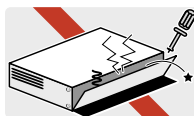


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

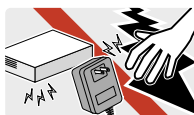
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない

本製品に付属のACアダプターは100～240Vで動作します。



電圧注意

付属のACアダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。必ず、付属のACアダプターを使用してください。



付属品を使用

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを
抜く

電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはていねいに

落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー
類不可

本書の読みかた





このたびは、CentreCOM RG601TX/RG601TX-SPをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

表記規則

本書の表記規則を以下に示します。

アイコン

アイコン	意味
 ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
 注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
 警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

製品名の表記

単に「本製品」と表記している場合は、CentreCOM RG601TXおよびCentreCOM RG601TX-SPに共通する事項を意味します。

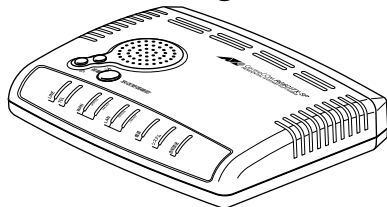
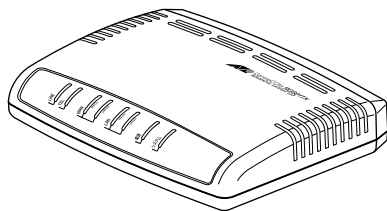
場合によっては、RG601TXのように製品の略称で記載します。

目次

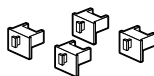
安全のために	2
本書の読みかた	4
目次.....	5
1 箱の中身を確認める	6
2 特長	7
3 各部の名称とはたらき.....	8
4 設置前に確認すること.....	13
4.1 テレホンコードとUTPケーブルの確認.....	13
5 設置する.....	14
5.1 設置するときの注意	14
5.2 壁への取り付け	15
6 ケーブルの接続	16
6.1 テレホンコードの接続.....	16
6.2 UTPケーブルの接続.....	17
6.3 電源ケーブルの接続	18
7 電話機の使いかた.....	19
7.1 電話回線のテスト.....	19
7.2 電話をかける	19
7.3 電話を受ける	20
7.4 停電時の動作と操作.....	21
8 告知放送機能の使いかた (RG601TX-SP)	22
8.1 告知放送を聞く	22
8.2 音の大きさを調整する.....	22
8.3 放送を聞いたことを通知する	22
A 困ったときは.....	23
A.1 故障かなと思ったら	23
B 仕様	26
C 問い合わせ先.....	28

1 箱の中身を確認める

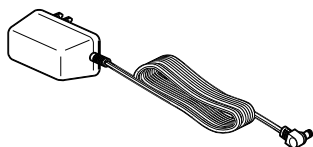
最初に梱包箱の中身を確認してください。



- RG601TX 本体
 - RG601TX-SP 本体
- (どちらか1台)



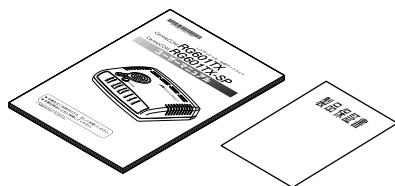
- ダストカバー 4個



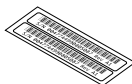
- ACアダプター 1個



- テレホンコード 1本



- ユーザーマニュアル(本書) 1冊
- 製品保証書 1枚



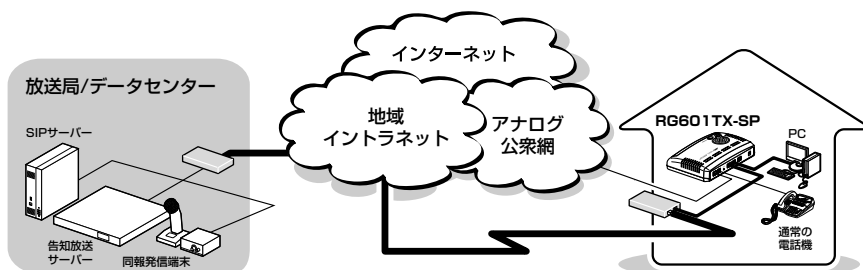
- シリアル番号シール 2枚

本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望めます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

2 特長

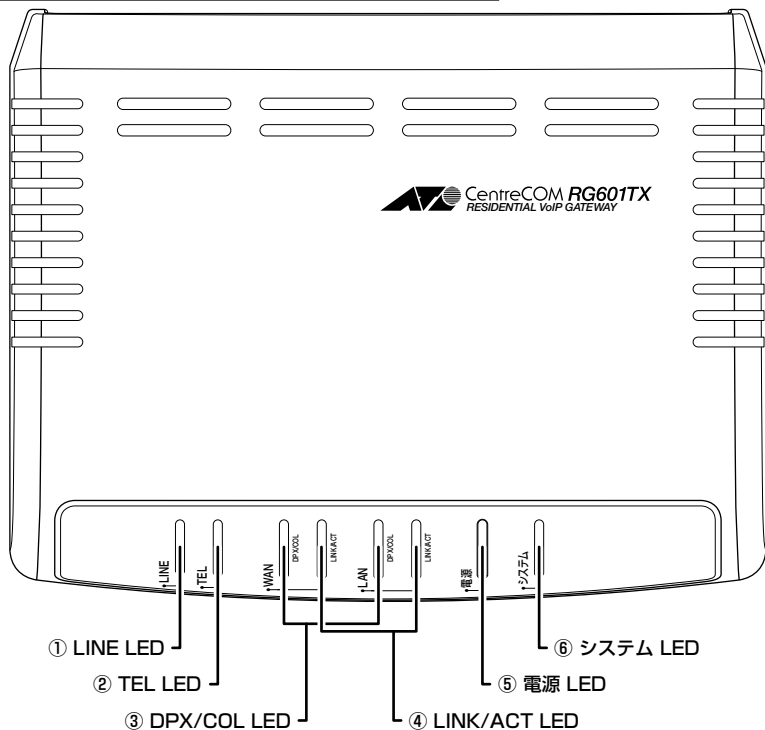
本製品は、ブロードバンドネットワークを利用して、次のサービスを提供するための加入者宅側設置機器です。以下のサービスと並行して、従来からの通常の電話（一般加入電話）を、そのままご利用いただけます。

- IP 電話
- インターネットへの接続
- 告知放送 (RG601TX-SPのみ)



3 各部の名称とはたらき

前面 (RG601TX・RG601TX-SP 共通)



① LINE LED

LED	色	状態	表示内容
LINE	緑	点灯	一般加入回線で通話中です。
		消灯	一般加入回線で通話していません。 (IP回線による通話では点灯しません。)

② TEL LED

LED	色	状態	表示内容
TEL	緑	点灯	IP回線を使用する通話が可能です。
		点滅	電話機の手話器が上がっているか、または通話中です。 通話を着信したとき、呼び出し音に合わせて点滅します。
		消灯	IP回線を使用する通話できません。

③DPX/COL LED

LED	色	状態	表示内容
DPX /COL	緑	点灯	Full Duplexでリンクが確立しています。
	橙	点滅	コリジョンが発生しています。
	—	消灯	Full Duplexでリンクが確立していません。 (Half Duplexでリンクが確立しています。)

④LINK/ACT LED

LED	色	状態	表示内容
LINK /ACT	緑	点灯	100Mbpsでリンクが確立しています。
		点滅	100Mbpsでパケットを送受信しています。
	橙	点灯	10Mbpsでリンクが確立しています。
		点滅	10Mbpsでパケットを送受信しています。
	—	消灯	リンクが確立していません。

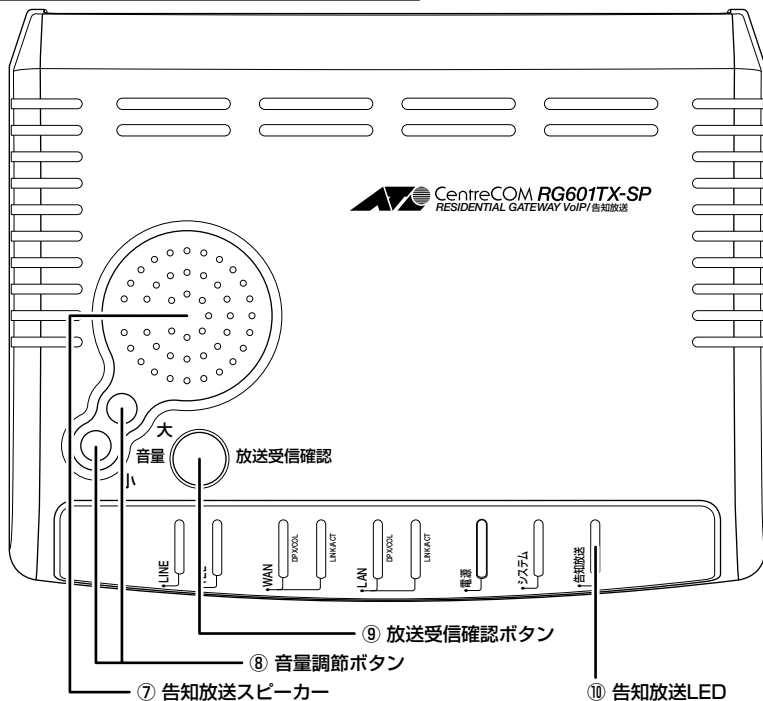
⑤電源LED

LED	色	状態	表示内容
電源	緑	点灯	電源が供給されています。
		消灯	電源が供給されていません。

⑥システムLED

LED	色	状態	表示内容
システム	橙	点灯	異常が発生しています。 (起動時の一時的な点滅は正常な動作です。)
		消灯	正常に動作しています。

前面スピーカー部 (RG601TX-SP)



⑦ 告知放送スピーカー

告知放送を受信した場合、このスピーカーから放送されます。

⑧ 音量調節ボタン(大・小)

告知放送の音の大きさを調節します。

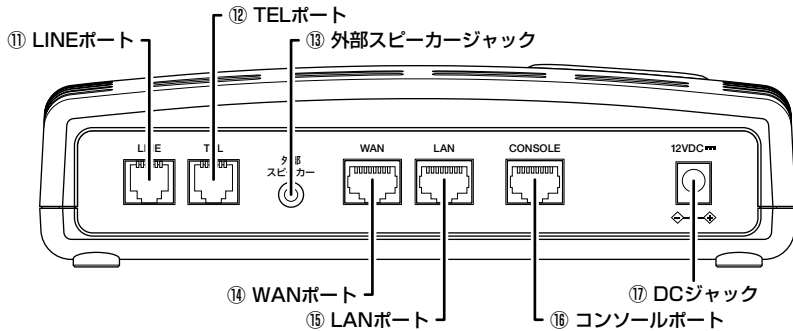
⑨ 放送受信確認ボタン

告知放送を聞いたことを、放送者に知らせるためのボタンです。聴取者が告知放送を聞いたことを放送者に通知する必要がある場合、このボタンが橙色で点滅します。

⑩ 告知放送LED

LED	色	状態	表示内容
告知放送	橙	点滅	告知放送が放送されています。
		消灯	告知放送が放送されていません。

背面



⑪ LINEポート

テレホンコードで、通常の電話（一般加入電話）回線のRJ-11モジュージャックに接続します。

⑫ TELポート

テレホンコードで、電話機を接続します。

⑬ 外部スピーカージャック (RG601TX-SPのみ)

告知放送の音声を外部スピーカーに出力します。



本製品には外部スピーカーは同梱されておりません。

ヒント

⑭ WANポート (Auto-MDI)

WAN側（外部）からのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。オートネゴシエーション (Auto-Negotiation)、MDI/MDI-X自動切替機能により、接続された機器に応じて適切なモードで動作します。

⑮ LANポート (Auto-MDI)

UTPケーブルでコンピューター、HUBやスイッチを接続します。オートネゴシエーション (Auto-Negotiation)、MDI/MDI-X自動切替機能により、接続された機器に応じて適切なモードで動作します。

⑯ コンソールポート

本製品の管理用のポートです。
お客様はご使用になれません（何も接続しないでください）。

⑰ DCジャック

本製品に付属のACアダプターのDCプラグを接続するジャックです。
本製品には電源スイッチがありません。本製品の起動と停止は、アダプターのACプラグを電源コンセントに抜き差しすることでおこないます。

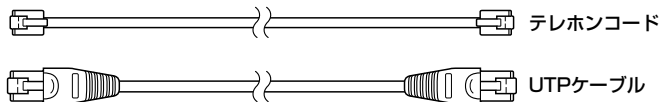
4 設置前に確認すること

4.1 テレホンコードと UTP ケーブルの確認

本製品と電話機、コンピューターを接続する接続ケーブルをご確認ください。



本製品にはテレホンコードが付属しています。
UTPケーブルは、使用環境に合わせたものを別途ご用意ください。



UTPケーブルは、10BASE-Tではカテゴリ 3以上、100BASE-TXではカテゴリ 5以上のUTPケーブルを使用します。



新たに購入される場合は、カテゴリ 5以上のUTPケーブルをお求めいただくことを推奨しています。

5 設置する

5.1 設置するときの注意

本製品の設置や保守を始める前に、必ず表紙裏の「安全のために」をよくお読みください。設置場所については、下記にご注意ください。

- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本体側面、および背面をふさがないように設置してください。
- テレビ、ラジオ、無線機、携帯電話などのそばに設置しないでください。
- ケーブルに無理な力が加わるような配置はさけてください。
- 本体の上に物を置かないでください。
- 本製品は屋外ではご利用になれません。
- コネクターの端子にさわらないでください。静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

また、壁面に取り付ける場合には、以下の点にご注意ください。

- 高所に取り付ける際には、特に注意して、確実に壁に固定してください。固定が不十分な場合、落下によるけがや、本製品が破損するおそれがあります。
- 取り付け面の状態によっては、十分な取り付け強度を得られないことがあります。機器およびケーブルの重みによって本製品が落下しないよう、確実に取り付け・設置をおこなってください。けがや本製品の破損の原因になることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所には設置しないでください。落下によるけがや、本製品の故障の原因になることがあります。
- 取り付け面によっては、本製品設置の際に、被着面の塗装などに傷が付く場合があります。

5.2 壁への取り付け

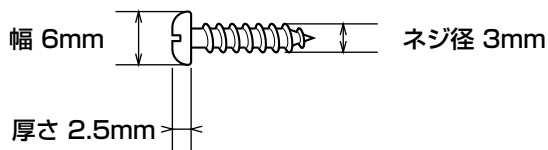
壁面への取り付けは、以下の手順でおこなってください。



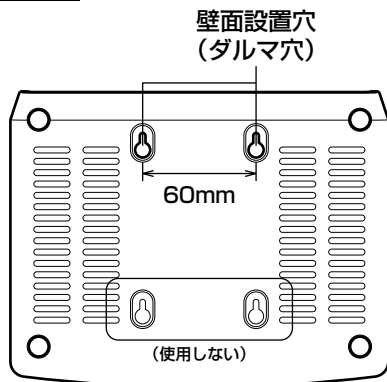
壁面の構造に合わせて、適切な壁面への取り付け工事をおこなってください。不適切な工事をおこなった場合、落下の原因となり危険です。専門の知識を持った工事業者に依頼することをお勧めいたします。

- (1) 以下の点を考慮して、本製品を設置する場所を決めてください。
 - ・ UTPケーブルおよびACアダプターの接続が可能であること。
 - ・ 本体のLEDを下側に向けて表示が監視できること。
- (2) 設置場所に木ネジを2つ取り付けます。
(本製品には木ネジは付属しておりません。別途ご用意ください。)
ネジの間隔は横60mmです。取り付け面からネジの頭が5mmほど出たところまでネジを埋め込みます。

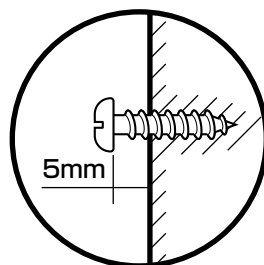
推奨するネジの寸法



裏面



壁面



- (3) 本製品底面のダルマ穴の上2つを、木ネジの頭に通し、細い部分までずらして固定してください。

6 ケーブルの接続

6.1 テレホンコードの接続

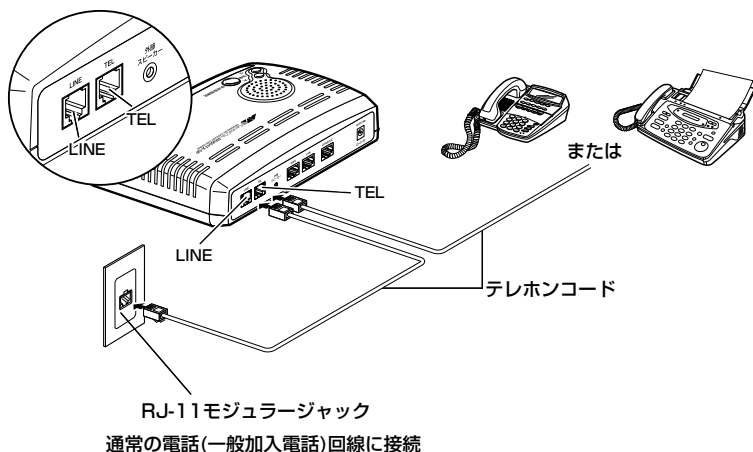
通常の電話（一般加入電話）回線と、電話機/FAX電話を、本製品に接続します。


- (1) TELポートにテレホンコードで電話機やFAX電話を接続します。


TELポートにテレホンコードのプラグをカチッと音がするまで差し込み、テレホンコードを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。同様にテレホンコードのもう一方の端のプラグを電話機やFAX電話に接続します。


- (2) LINEポートと通常の電話（一般加入電話）回線のRJ-11モジュラージャックをテレホンコードで接続します。

LINEポートにテレホンコードのプラグをカチッと音がするまで差し込み、テレホンコードを軽く引っ張ってみて抜けないことを確認してください。同様にテレホンコードのもう一方の端のプラグを通常の電話回線のRJ-11モジュラージャックに接続します。



 電話接続でトラブルが発生したときは、「A 困ったときは」(P.23)をご覧ください。

 **注意** TELポートには、1回線に1台の電話機やFAX電話を接続してください。2分配器や3分配器などのアダプターは使用できません。

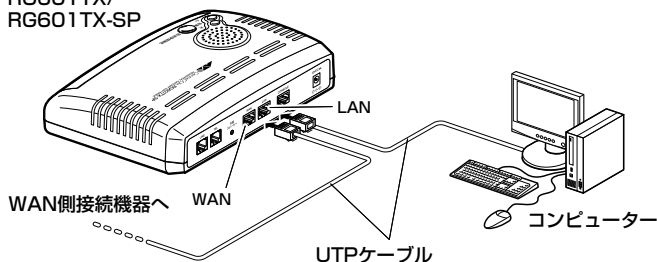
 **注意** 本製品に電話機を接続した場合、電話会社が提供するサービスの一部やご使用いただく電話機やFAX電話の固有機能がご利用いただけないことがあります。

6.2 UTP ケーブルの接続

本製品のWANポートと回線機器、本製品のLANポートとコンピューターをUTPケーブルを使用して接続します。

- (1) 2本のケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。
- (2) WANポートにUTPケーブルのプラグをカチッと音がするまで差し込み、UTPケーブルを軽く引っ張ってみて、抜けないことを確認してください。同様に、UTPケーブルのもう一方のプラグをWAN側接続機器に接続します。
- (3) 本製品をVoIP機能のみで使用する場合（IP電話のみを使用する場合）はUTPケーブルの接続作業は終了です。本製品のLANポートを利用してコンピューターを接続する場合は、次の手順に進んでください。

RG601TX/
RG601TX-SP



- (4) 本製品のLANポートにUTPケーブルのプラグをカチッと音がするまで差し込み、UTPケーブルを軽く引っ張ってみて、抜けないことを確認してください。同様に、UTPケーブルのもう一方のプラグをコンピューターのネットワークインターフェースに接続します。



本製品と端末、または本製品とHUBやスイッチを接続するケーブルの長さはいずれも100m以内にしてください。



LANやWANの接続でトラブルが発生したときは、「A 困ったときは」(P.23)をご覧ください。

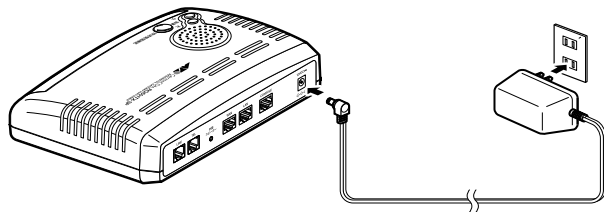


使用していないポートには、必ず付属のダストカバーを取り付けてください。ほこり・異物の混入による機器の故障の原因となるおそれがあります。

6.3 電源ケーブルの接続

本製品は電源スイッチがなく、電源ケーブルを接続すると自動的に電源が入ります。

- (1) ACアダプターのDCプラグを、本製品背面のDCジャックに接続します。
- (2) ACアダプターのACプラグを電源コンセントに接続します。



警告

本製品を使用する場合には、必ず製品に同梱されているACアダプターをご使用ください。不適切なACアダプターや電源コンセントを使用すると発熱による発火や感電のおそれがあります。また、ACプラグを電源コンセントから抜くときは、必ずアダプター本体を持って抜いてください。

電源を切る場合は、ACアダプターのACプラグを電源コンセントからはずします。



警告

ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだまま、DCプラグを本製品のDCジャックから抜かないでください。感電するおそれがあります。



注意

電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあげてください。



注意

本製品の電源をオンにしてから約40秒が経過するまでの間に、電源をオフにしないでください。

7 電話機の使いかた

7.1 電話回線のテスト

本製品のTELポートに接続した電話機やFAX電話、また通常の電話（一般加入電話）回線とIP回線が正常かどうかを、以下の手順で確認します。


- (1) 電話機やFAX電話の受話器をあげて、「ツーン」という音が正常に聞こえるかどうか確認します。聞こえない場合は、本製品と電話機やFAX電話の間の接続を確認してください。
- (2) 以下の2通りの方法で電話をかけてみてください。電話がかからない場合は、電話機やFAX電話のダイヤルモードスイッチ（トーンまたはダイヤルパルス）を切り替えてみてください。

● 時報や天気予報にかけてみる

有料となりますが、通話が正常におこなわれるか確認してください。

● IP電話の回線テスト用の電話番号にかけてみる

通話が正常におこなわれるか確認してください。回線テスト用の電話番号については、設置業者（プロバイダー）におたずねください。

 **参照** 電話接続でトラブルが発生したときは、「A 困ったときは」(P.23)をご覧ください。

7.2 電話をかける

電話機の受話器を上げ、相手の電話番号をダイヤルしてください。

相手が出たら通話してください。

通常の電話（一般加入電話）回線を使用しているときは、LINE LEDが点灯します。

通話が終わったら受話器をもどしてください。



7.3 電話を受ける

電話を受けるときは、今までと同じ受信操作をおこなうだけです。通常の電話（一般加入電話）とIP電話の違いはありません。

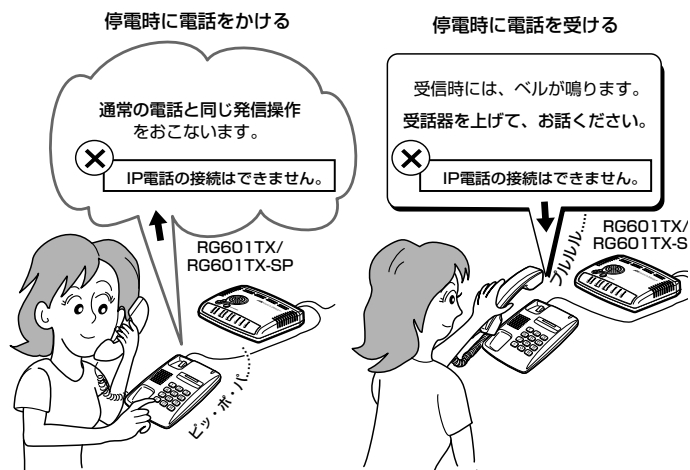
呼び出し音が鳴ったら、電話機の受話器を上げて、相手と通話してください。
通常の電話（一般加入電話）回線を使用しているときは、LINE LEDが点灯します。

通話が終わったら受話器をもどしてください。



7.4 停電時の動作と操作

停電時には通常の電話（一般加入電話）をそのままご利用いただけます。IP回線による通話はできません。



警告

電話機やFAX電話によっては、停電時の通話ができないものもあります。
電話機やFAX電話に付属の取扱説明書をご確認ください。



ヒント

電源コンセントが抜けている場合やIP回線に異常が発生している場合、停電時と同じ動作、操作になります。

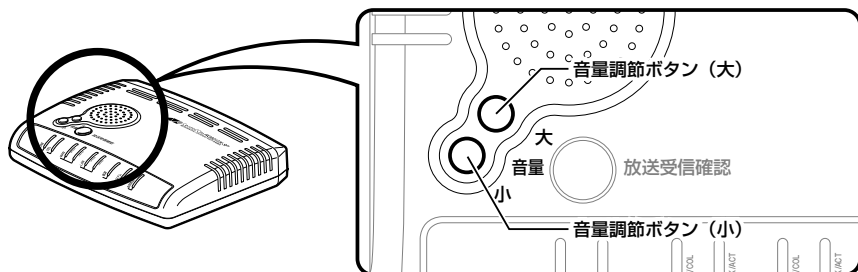
8 告知放送機能の使いかた (RG601TX-SP)

8.1 告知放送を聞く

本製品が告知放送を受信すると、放送は自動的にスピーカーから流れます。告知放送を受信している間、告知放送LEDが点滅します。

8.2 音の大きさを調整する

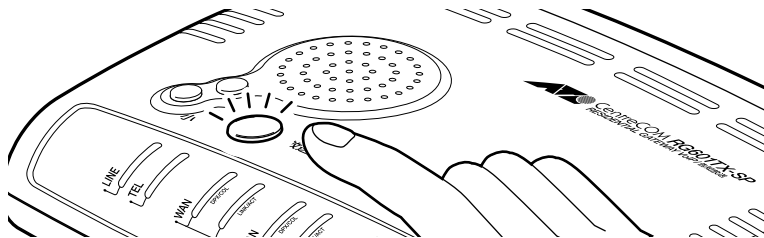
RG601TX-SPの上面にある音量調節ボタンを押すことで、告知放送の音の大きさを調節することができます。



- 音が小さく聞き取りにくいとき
音量調節ボタン(大)を押します。
- 音が大きくなるさいとき
音量調節ボタン(小)を押します。

8.3 放送を聞いたことを通知する

放送受信確認ボタンが点滅したら、放送を聞き終えてからボタンを押してください。放送受信確認ボタンの点滅は、「放送を聞いたことを通知する」ことが要求されている告知放送です。



A 困ったときは

本製品を使用中にトラブルが発生したときの対処方法について説明します。トラブルが発生したときは、まず発生したトラブルやLEDの状態を確認のうえ、該当の説明をお読みください。

 LEDの状態と意味については、「3 各部の名称とはたらき」(P.8)をご覧ください。

A.1 故障かなと思ったら

トラブル

電源が入らない、動作しない

対応

電源LEDが点灯しているか、確認してください。点灯していない場合は、以下の事項を確認してください。

1. 本製品に付属のACアダプターを使用しているか、ACアダプターの電源ケーブルに断線がないか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。
2. アダプターのDCプラグが本製品のDCジャックに正しく接続されているか、アダプターのACプラグが電源コンセントに正しく接続されているか、確認してください。本製品には電源スイッチが付いていません。本製品の起動と停止はアダプターのACプラグの抜き差しでおこなってください。

トラブル

電源LEDは点灯するが、正しく動作しない

対応

以下の事項を確認してください。

1. 電源をオフにした後、すぐオンにしていないか確認してください。
電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。
2. システムLEDが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、電源アダプターをコンセントからはずすか、電源プラグを本製品の電源コネクタからはずし、しばらく待ってから再度電源コンセントに差し込んでください。
3. それでもシステムLEDが点灯する場合は、本製品の電源プラグおよび電源アダプターをはずして設置業者(プロバイダー)にご連絡ください。

トラブル

本製品に接続した機器（コンピューター）の通信ができない

対応

LINK/ACT LEDが点灯しているか確認してください。点灯していない場合、以下の事項を確認してください。

1. 接続した機器の電源が入っているか確認してください。また、接続している機器がコンピューターの場合、取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。
2. 本製品と機器を接続しているUTPケーブルが正しく接続されているか、正しいケーブルが使用されているか、断線していないか等を確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。UTPケーブルは最長100mの制限があります。
3. UTPケーブルに問題がないか確認してください。UTPケーブルの不良は外観からは判断しにくい（結線は良いが特性が悪い場合など）、判断がつかない場合は、他のケーブルと交換してみてください。

トラブル

通話ができない

対応

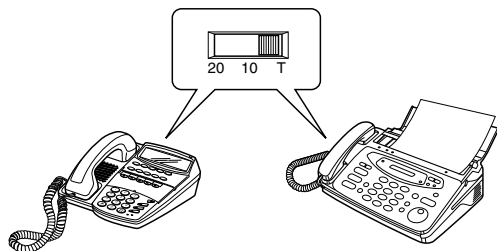
受話器を上げたときに、TEL LEDが点滅するか確認してください。点滅しない場合、以下の事項を確認してください。

テレホンコードが正しく接続されているか、正しいコードを使用しているか、断線していないかなどを確認してください。判断がつかない場合は、他のテレホンコードと交換してみてください。

対応

TEL LEDが点滅しても通話できない場合、以下をおこなってみてください。

電話機やFAX電話のダイヤルモードのスイッチ（トーンまたはダイヤルパルス）を、通常の電話（一般加入電話）回線の種別に合わせて切り替えてみてください。



機種によっては、このスイッチがなく、ボタン操作でトーン設定をおこなうものがあります。その場合は、使用する電話機やFAX電話の取扱説明書をご覧ください。

B 仕様

本製品の主な仕様は以下のとおりです。

準拠規格	
	IEEE 802.3 10BASE-T、IEEE 802.3u 100BASE-TX
適合規格	
EMI規格	VCCIクラスB
安全規格	UL60950-1、CSA C22.2 No. 60950-1
電気通信事業法に基づく技術基準 JATE	AD04-0115005
インターフェース	
WANポート	10BASE-T/100BASE-TX (オートネゴシエーション、MDI/MDI-X自動切替) × 1
LANポート	10BASE-T/100BASE-TX (オートネゴシエーション、MDI/MDI-X自動切替) × 1
TELポート	2線式アナログ電話機インターフェース × 1
給電電圧	DC-48V
発信方式	トーン(プッシュ)方式、ダイヤルパルス方式
LINEポート	2線式アナログ公衆回線インターフェース × 1
発信方式	トーン(プッシュ)方式、ダイヤルパルス方式
コンソールポート	RS-232 (RJ-45) × 1
外部スピーカー端子	モノラルミニジャック(φ 3.2mm) × 1
メモリー容量	
メインメモリー	16MByte
フラッシュメモリー	2MByte
電源部	
定格入力電圧	AC100~240V
入力電圧範囲	AC90V~264V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.5A
最大入力電流(実測値)	0.19A
平均消費電力	8.3W (最大12W)
平均発熱量	29kJ/h (最大43kJ/h)
環境条件	
動作時温度	0~40℃
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
保管時温度	-20~60℃
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)

外形寸法 (突起部含まず)	
本体	200 (W) × 157 (D) × 54 (H) mm
ACアダプター	75 (W) × 35 (D) × 55 (H) mm
質量	
本体	RG601TX: 440g
	RG601TX-SP: 460g
ACアダプター	100g (ケーブル含まず)

C 問い合わせ先

故障、通信上のトラブルが発生した場合には、設置業者（プロバイダー）にご連絡ください。

ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2005,2006 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

マニュアルバージョン

2006年 4月 Rev.B

2005年 2月 Rev.A 初版



アライドテレシス株式会社